

日中友好の船



* 文書館図書018「山口県文書館の30年」。1978（昭和53）年の日中平和友好条約締結を受け、翌年5月、中国から「中日友好の船」訪日代表団約600名が来日しました。山口県はその最初の訪問地となり3日間にわたり県内の視察が行われました。当館も見学地の一つで、写真は那时的様子です（文書館閲覧室）。

解説

1951（昭和26）年のサンフランシスコ平和条約では、東側陣営諸国やアジアの多くの国々との間で講和が実現せず、これらの国々との国交回復が課題として残されました。

このうち、中華人民共和国（中国）とは1972（昭和47）年の日中共同声明により国交が正常化され、1978（昭和53）年に日中平和友好条約が締結されたことで、両国の関係は深まっていきました。

こうした動きを背景として、山口県でも中国との交流が進められました。1979（昭和54）年、下関市と山東省青島市との間で友好都市提携が調印され、翌年、提携1周年を記念して日中友好の船「ゆうとぴあ」が不定期航路として下関・青島間に就航しました。下の写真はその初航海の様子です。平井県知事以下610名からなる山口県からの中国訪問団が乗船し、9日間の日程で青島・天津・北京を訪問しました。

その後、1982（昭和57）年には山口県と山東省との間で友好協定が締結されました。



* グラフ山口-総務325「日中友好の船 ゆうとぴあ（写真）」。
昭和55年10月。下関港。